

平成 23 年（2011 年）大阪府産業連関表による 地域経済分析

大阪府総務部統計課 情報分析グループ

《詳細は大阪府ホームページに掲載しています。http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/sanren_k/》

平成 23 年（2011 年）大阪府産業連関表の分析事例を掲載した、「別冊 分析利用編」を平成 29 年 3 月 31 日に公表しましたので、一部概要を紹介します。

1 大阪府産業連関表とは

大阪府産業連関表は、大阪府内で取引された財やサービスについて、産業相互間の取引関係を一覧表にまとめたものです。大阪府では、昭和 30 年（1955 年）以来、5 年に一度基本表を作成しています。

平成 23 年（2011 年）大阪府産業連関表は、経済センサス、商品流通調査、国勢調査などの様々な統計データや平成 27 年 6 月に公表された国の平成 23 年産業連関表等を利用して作成し、平成 28 年 10 月 17 日に公表しました。

2 産業連関表による地域経済分析の概要

本稿では、以下に掲げる 5 つの特徴を持つ部門を大阪府にとって「強みとなり得る部門」と位置づけ、大阪府産業連関表及び雇用表により大阪府における地域経済を分析することとします。

- (1) 大阪府において規模が大きい部門
- (2) 府域外から収入を得ている部門
- (3) 産業集積度合い、労働生産性が高い部門
- (4) 大阪府内の雇用への影響が大きい部門
- (5) 大阪府内への生産波及効果が大きい部門

なお、本稿では 13 部門表により分析しましたが、37 部門表、108 部門表、190 部門表を利用することにより、より詳細な分析が可能となります。また、他の統計と組み合わせることで、地域の産業構造をより詳しく観察することができます。

以下の参考文献も併せてご参照いただき、「大阪府産業連関表」を産業構造の把握等にお役立て下さい。

<参考文献>

- 経済産業省『地域経済分析の考え方とポイント』,
<http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/bunnseki/>
- 環境省『地域経済循環分析とは』, <<https://www.env.go.jp/press/files/jp/28653.pdf>>
- 中村良平（2014）『まちづくり構造改革 地域経済構造をデザインする』, 日本加除出版
- 稲田義久・入江啓彰（2015）<企画論文>「関西地域間産業連関表による域際取引構造の分析」,
『産研論集』第 42 号

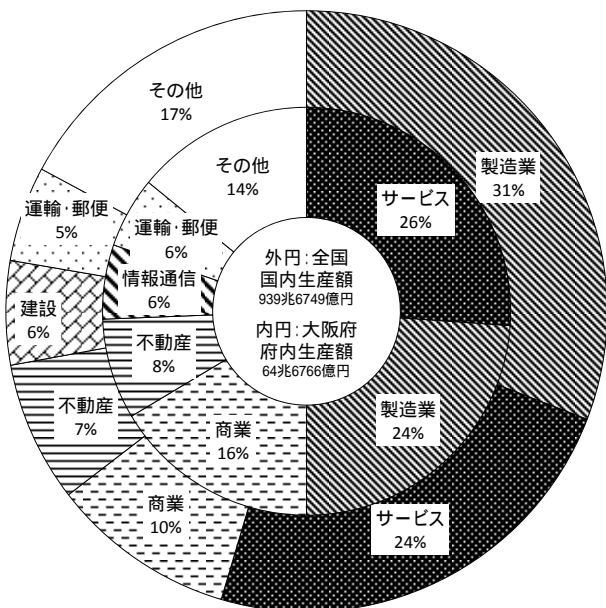
(1) 大阪府において規模が大きい部門

POINT 生産額・粗付加価値額（構成比）を部門別に確認する

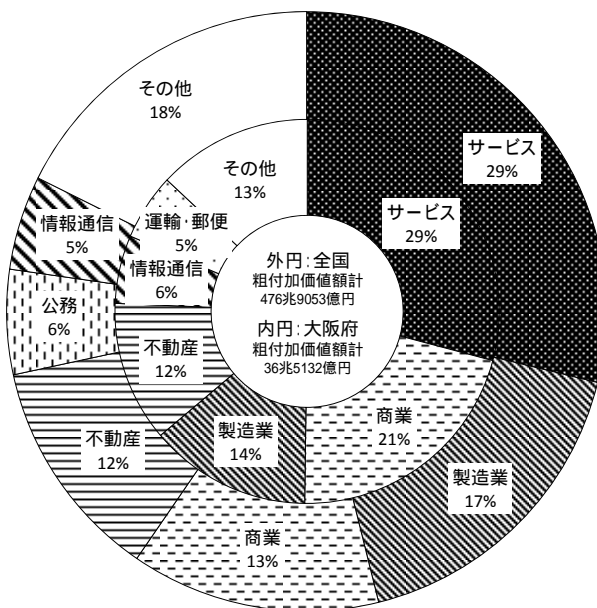
- ✓ 府内生産額・粗付加価値額ともにサービス、商業、製造業の構成比が大きい
- ✓ 全国と比較すると、生産額構成比・粗付加価値額構成比ともに商業が大きい

分析

生産額構成比



粗付加価値額構成比



平成23年大阪府産業連関表 取引基本表(13部門)、平成23年全国産業連関表 取引基本表(13部門) より作成

大阪府における産業規模の大きさを、府内生産額及び粗付加価値額をもとに確認します。部門別の生産額構成比を大阪府内と国内とで比較すると、大阪府において生産が盛んな部門を把握できます。粗付加価値は、住民の所得や税収の源泉となることから、粗付加価値額が大きいものは、大阪府の中心的な部門とすることができます。

【分析結果】

- ✓ 府内生産額・粗付加価値額ともにサービス、商業、製造業の構成比が大きい
- ✓ 全国と比較すると、生産額構成比・粗付加価値額構成比ともに商業が大きい

用語解説

- ・ 府内生産額：大阪府内の生産活動で生み出された財・サービスの総額
- ・ 粗付加価値額：生産活動によって新たに生み出された価値のこと。雇用者所得や営業余剰等から構成される。

(2) 府域外から収入を得ている部門

POINT 域際収支（純輸移出額*）が「プラスの値」の部門を把握する

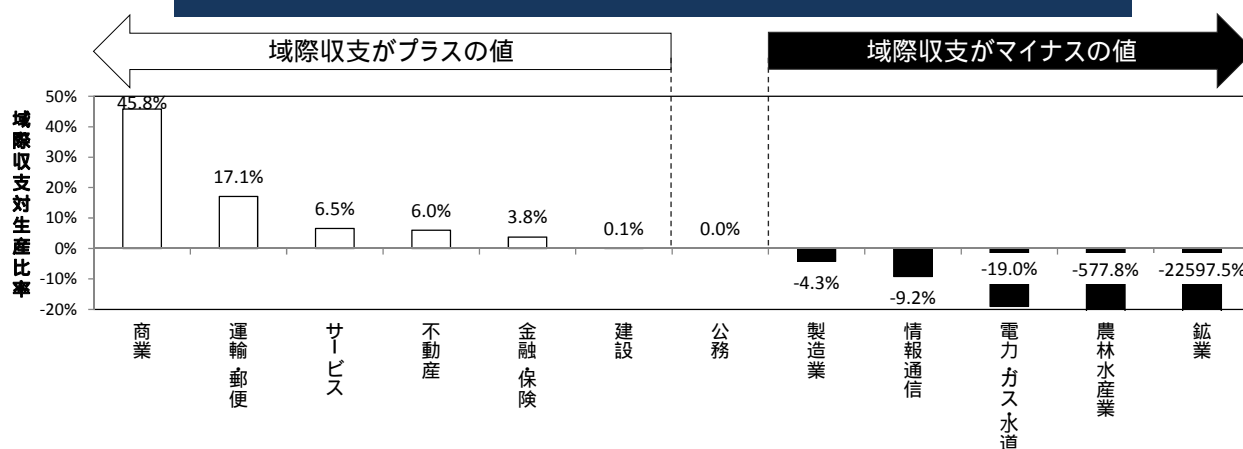
- 域際収支がプラスの値 府域内で消費する以上に生産しており府域外から収入を得ている
- 域際収支がマイナスの値 府域内の消費を満たす域内生産がなく府域外に生産を依存している

*純輸移出額 = 輸移出額 - 輸移入額

- ✓ 域際収支がプラスの値：「商業」「運輸・郵便」「サービス」
- ✓ 域際収支がマイナスの値：「鉱業」「農林水産業」「電力・ガス・水道」

分析

域際収支対生産比率（%）：（純輸移出額 / 生産額）×100



平成23年大阪府産業連関表 取引基本表(13部門)より作成

府域外から収入を得ている部門は、域際収支（純輸移出額）で把握します。域際収支は、輸移出額から輸移入額を差し引いたもので、

- ・ プラスの値：府域内で消費する以上に生産しており、府域外から収入を得ている部門
- ・ マイナスの値：府域内の消費を満たす域内生産がなく、府域外に生産を依存している部門と考えます。よって、域際収支がプラスの値となっている部門が、府域外から収入を得ている部門と言えます。

【分析結果】

- ✓ 域際収支がプラスの値：商業、運輸・郵便、サービス
- ✓ 域際収支がマイナスの値：鉱業、農林水産業、電力・ガス・水道

用語解説

- ・ 輸移出：大阪府内から、日本国外または日本国内の大阪府外都道府県に販売された財・サービスのこと。
- ・ 輸移入：需要に応じて、日本国外または日本国内の大阪府外都道府県から大阪府内に供給された財・サービスのこと。

(3) 産業集積度合い、労働生産性が高い部門

POINT 1 産業集積度合いが高い：特化係数*が「1以上」の部門を把握する

● 特化係数が1以上 全国平均に比べ産業の集積度が高い

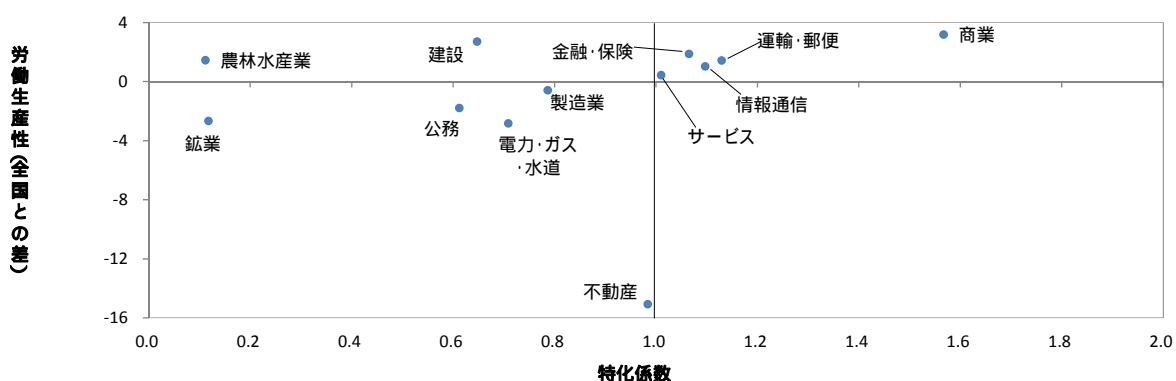
POINT 2 労働生産性**が高い：全国平均以上の部門を把握する

✓ 特化係数が1以上で労働生産性が高い：「商業」「金融・保険」「情報通信」

分析

特化係数*：大阪府粗付加価値構成比÷全国粗付加価値構成比

労働生産性**：粗付加価値÷従業者数



平成23年大阪府産業連関表 取引基本表(13部門) / 雇用表、平成23年全国産業連関表 取引基本表(13部門) / 雇用表より作成

産業集積の度合いは、特化係数で把握します。ここでの特化係数は「大阪府の粗付加価値構成比÷全国の粗付加価値構成比」で求め、これが大きいことは、産業を企業群の生産活動と捉えると、他地域より多くの企業が域内でまとまって生産を行っている、つまり、産業が集積していると言えます。特化係数が1以上であると、全国平均に比べ産業の集積度合いが高いことを示します。

また、ここでは労働生産性を、「粗付加価値÷従業者数(百万円/人)」と定義します。労働生産性が高いことは、従業者一人あたりが生み出す粗付加価値が大きいことを示し、結果として地域の豊かさに貢献します。全国と比較し、その値が大きいものを労働生産性が高い部門とします。

【分析結果】

✓ 特化係数が1以上で労働生産性が高い：商業、金融・保険、情報通信

(4) 大阪府内の雇用への影響が大きい部門

POINT 1 従業者数の多い部門を把握する

- 従業者数の多い部門は、府内における雇用機会を提供している

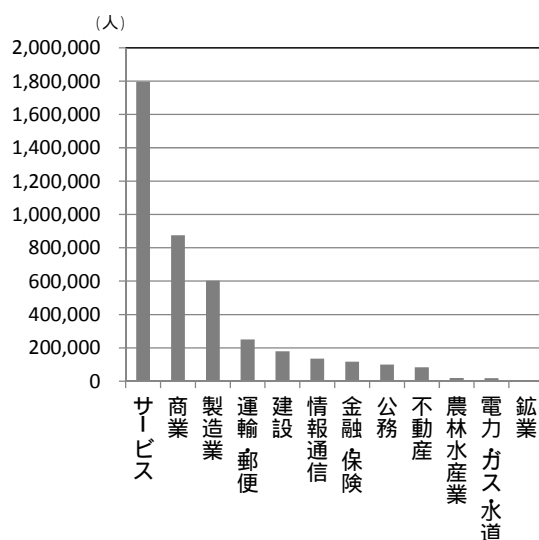
POINT 2 雇用者所得構成比の大きい部門を把握する

- 雇用者所得には従業員の給与等が含まれるため、構成比の大きい部門は住民の生活との関わりが大きい

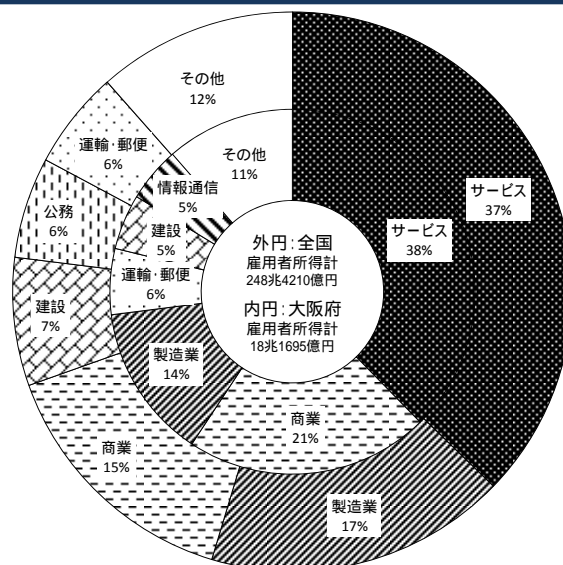
✓ 従業者数、雇用者所得構成比ともに、サービス、商業、製造業の順で大きい

分析

従業者総数



雇用者所得構成比



平成23年大阪府産業連関表 取引基本表(13部門) / 雇用表、平成23年全国産業連関表 取引基本表(13部門) / 雇用表より作成

大阪府内の雇用への影響が大きい部門は、従業者数と雇用者所得をもとに確認します。従業者数が多い部門は、府内において多くの雇用機会を提供していると言えます。雇用者所得は粗付加価値のうち従業員の給与等が含まれていることから、従業者数、雇用者所得の構成比が大きい部門は、地域住民の生活との関わりが大きい部門と言えます。

【分析結果】

- ✓ 従業者数、雇用者所得構成比ともにサービス、商業、製造業の順に大きい

用語解説

- ・ 雇用者所得：雇用されている者に対して、労働の報酬として支払われる賃金（現物支給含む）。個人事業者や家族従業員の所得は含まない。

(5) 大阪府内への生産波及効果が大きい部門

POINT 影響力係数* が大きい部門を把握する

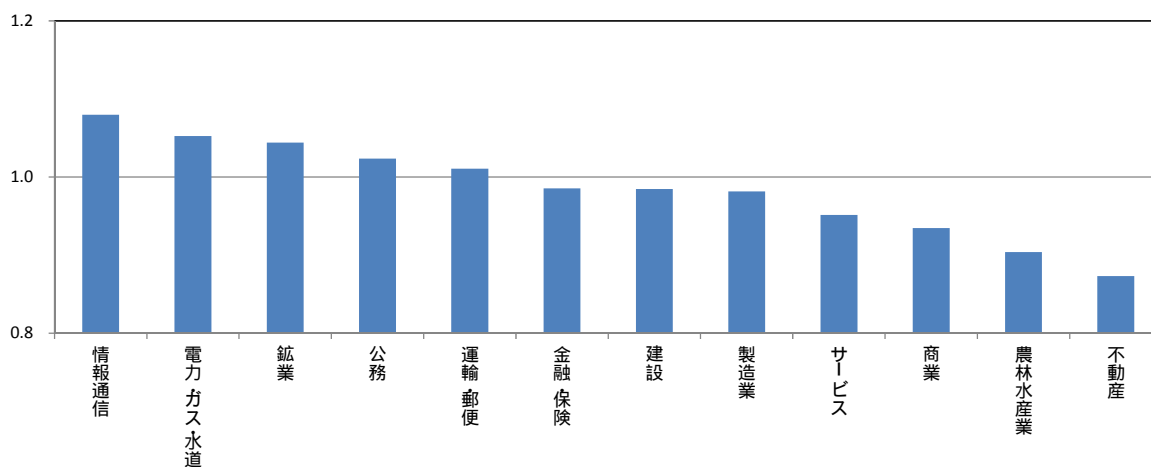
- 影響力係数が大きいほど、その部門に需要が発生したときに部門全体に与える生産波及の影響が強いことを表す

✓ 影響力係数が最も大きいのは情報通信、次いで電力・ガス・水道、鉱業

分析

影響力係数* : ある部門から他の部門への生産波及の影響の相対的な大きさを表す。影響の大きさが全部門の平均と等しいとき、影響力係数は1になる。

影響力係数 = 当該部門の逆行列係数の列和 ÷ 逆行列係数の列和の平均値



平成23年大阪府産業連関表逆行列係数表(13部門)より作成

大阪府内への波及効果の大きさは、「影響力係数」をもとに確認します。影響力係数は、部門間の取引において、ある部門から他の部門への生産波及の影響の相対的な大きさを示す数値で、逆行列係数表の各列の列和を列和の平均値で割って求めます。平成 23 年大阪府産業連関表逆行列係数表の最終行に記載があります。影響力係数の値が大きいほど、その部門に需要が発生した際に、府域内の部門全体に与える生産波及の影響が強いことを表します。

【分析結果】

- ✓ 影響力係数は情報通信、電力・ガス・水道、鉱業の順で大きい

用語解説

- ・ 逆行列係数：水面に小石を投げたとき、その小石を中心として波紋が広がるように、経済活動においても、あるところで発生した新たな需要は、生産を誘発し、その生産に必要な原材料等の需要を発生させ、次々と他の部門でも需要を呼び起こす。逆行列係数とは、このようにある部門に最終需要が1単位生じた場合に各部門の生産が最終的に何単位誘発されるかを示す係数。